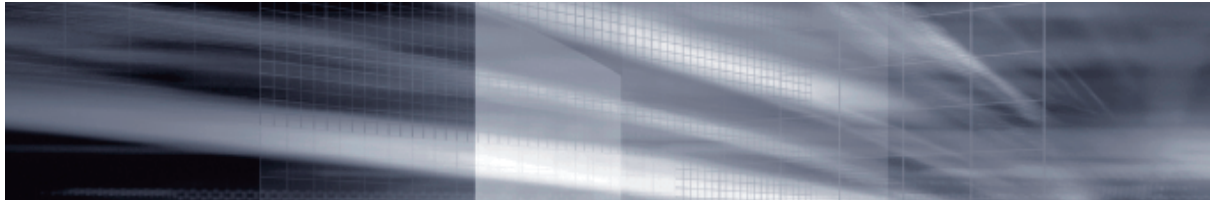




# Endeavor MR4600E


## スタートアップガイド Windows 8.1



**1** 梱包品を確認する  p.2

**2** コンピューターを設置する  p.4

**3** Windowsをセットアップする  p.12

**4** 安全にお使いいただくために  p.14

**情報マップ** 知りたい情報はどこにある?  裏表紙

**本機のユーザーズマニュアルは電子 (PDF) で提供しています。**



電子マニュアルは次の方法でご覧ください。

- 1** スタート画面の [PC お役立ちナビ] をクリックします。
- 2** 「PC お役立ちナビ」が起動したら、[マニュアルびゅうわ] を選択します。
- 3** 「マニュアルびゅうわ」が表示されたら、見たいマニュアルを選択します。

# 1 梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に受付窓口までご連絡ください。詳しくは、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



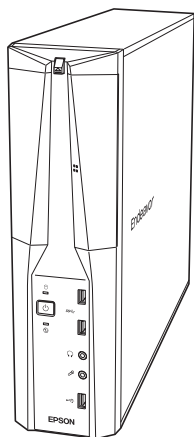
参考

## 保証書について

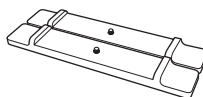
当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

# 1 ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。



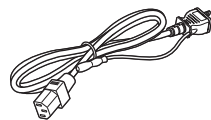
コンピューター本体



縦置きスタンド



ゴム足



電源コード (2 芯または 3 芯)

※ イラストは 2 芯です。

※ このほかにもオプション品が添付されている場合があります。  
オプション品は納品書でご確認ください。

# 2 マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

スタートアップガイド (本書)

サポート・サービスのご案内

※ このほかにもオプション品のマニュアルが添付されている場合があります。

### <電子マニュアル>

次のマニュアルは電子（PDF）で提供しています。

- ・ユーザーズマニュアル
- ・オプション品のマニュアル

#### 電子マニュアルの表示方法

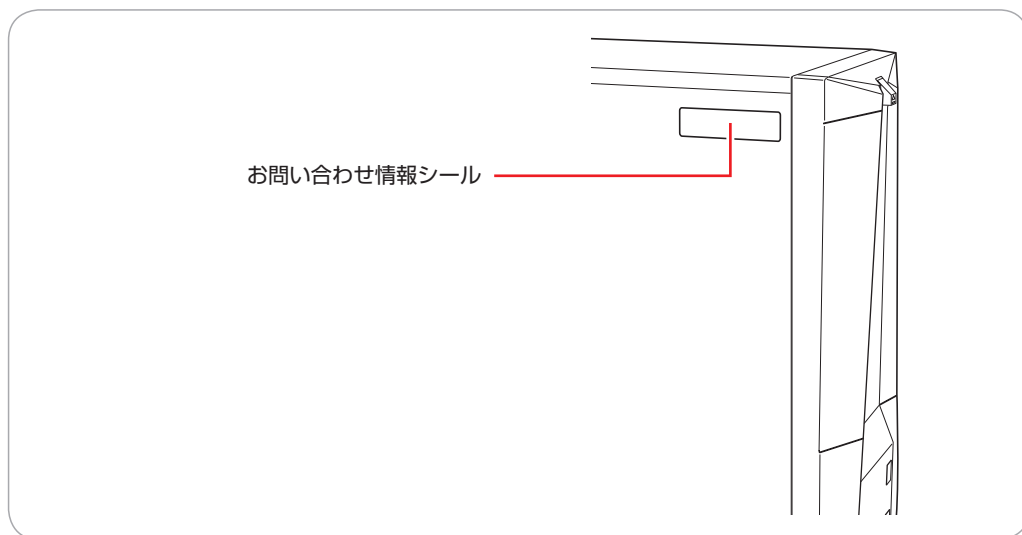
- 1 スタート画面の [PC お役立ちナビ] をクリックします。
- 2 「PC お役立ちナビ」が起動したら、「マニュアルびゅーわ」を選択します。
- 3 「マニュアルびゅーわ」が表示されたら、見たいマニュアルを選択します。



## 3

### ラベルを確認する

本機側面に、「お問い合わせ情報シール」が貼付されていることを確認してください。シールに記載されている製造番号はお問い合わせの際に必要です。【別冊】『サポート・サービスのご案内』の表紙に書き写しておいてください。



次の場所でも製造番号を確認できます。



【PC お役立ちナビ】 - 【製品情報】

### Windows 8.1 のプロダクトキーについて

Windows 8.1 のプロダクトキーは本機に組み込まれており、インターネットに接続すると、自動的にライセンス認証が行われます。

※ ラベルでプロダクトキーは添付されていません。

# 2 コンピューターを設置する

本機を設置し、使用できる状態にする手順を説明します。プリンターなどの周辺機器は、Windows のセットアップ後に接続してください。

## 設置における注意



注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。  
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。設置の際は、次の点を守ってください。
  - ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
  - ・じゅうたんや布団の上に設置しない。
  - ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

## 各種コード（ケーブル）接続時の注意



警告

- 本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源コードは、ほかの製品に使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。  
家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。  
取り扱いを誤ると、感電・火災の原因となります。
  - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
  - ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
  - ・コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。
  - ・電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



注意

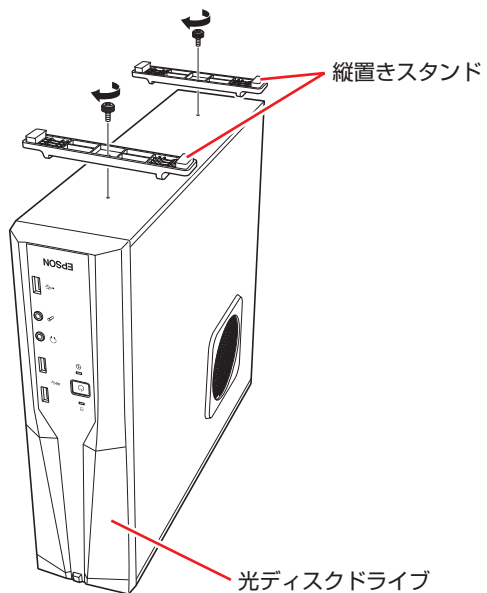
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。  
配線を誤ると、火災の原因となります。

# 1 設置準備を行います。

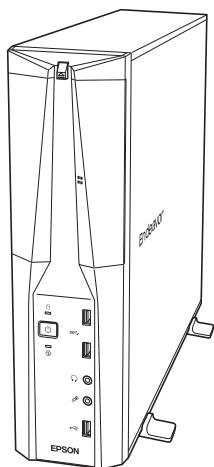
## 縦置きにする場合

転倒防止のため、必ず縦置きスタンドをセットしてください。

- 1 光ディスクドライブ側を下にして置き、縦置きスタンドを取り付けます。

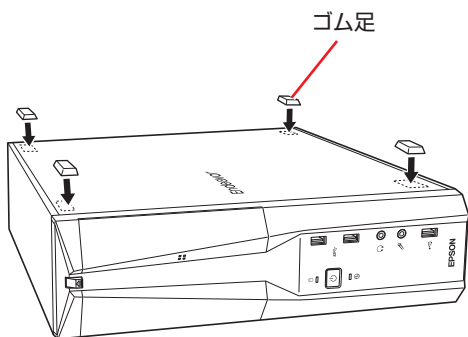


- 2 縦置きスタンドを下にして置きます。

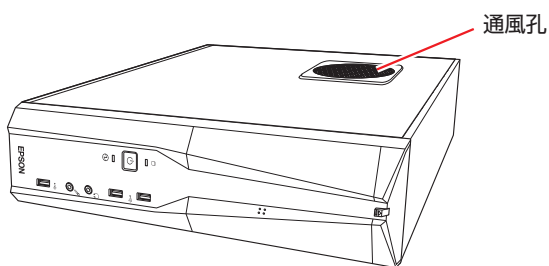


## 横置きにする場合

- 1 ゴム足（4個）を通風孔のない面の4隅に付けます。



- 2 通風孔のある面を上にして置きます。

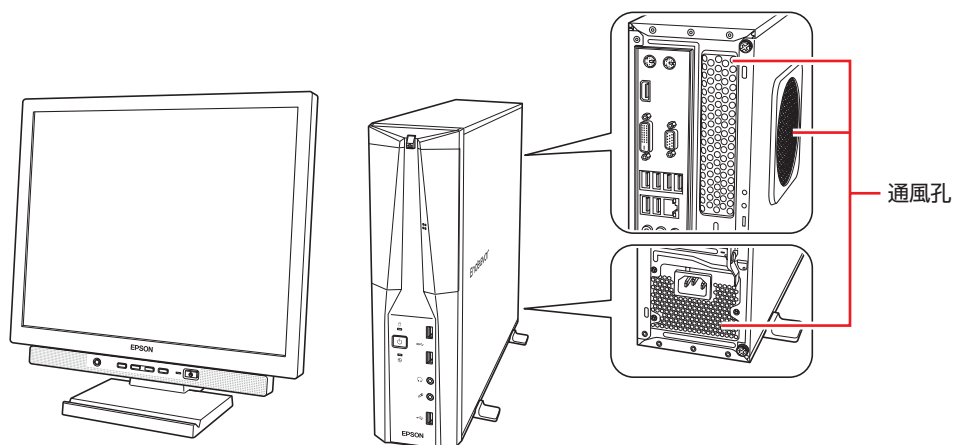


本機の上に乗せられるディスプレイの重さは、20kg までです。  
20kg より重いディスプレイは載せないでください。

- 2 本機とディスプレイを設置場所（丈夫で水平な台の上など）に置きます。



通風孔をふさがないように設置してください。

以降の手順は、本機を縦置きにした状態で説明します。




### 3 ディスプレイのケーブルを本機背面の該当するコネクタに接続します。

接続時は、ディスプレイのマニュアルも合わせてご覧ください。

- 通常の場合（ビデオボードが装着されていない場合）  p.8
- ビデオボードが装着されている場合  p.8

#### 制限

拡張スロットにビデオボードが装着されている場合、本機の HDMI または DVI-D、VGA コネクタにディスプレイを接続しても、画面表示されません。ディスプレイはビデオボードのコネクタに接続してください。

 p.8 「ビデオボードが装着されている場合」

ディスプレイを接続するコネクタには、次のようなものがあります。  
デジタル接続の場合、アナログ接続よりも、画像が鮮明に表示されます。

コネクタ形状	コネクタ名	使用するケーブル
	VGA コネクタ (アナログ)	VGA ケーブル (アナログ)
	DVI-D コネクタ (デジタル)	DVI-D ケーブル (デジタル)
	HDMI コネクタ (デジタル+サウンド)	HDMI ケーブル (デジタル+サウンド)

※ HDMI コネクタから音声出力するには、音声出力先を設定してください。

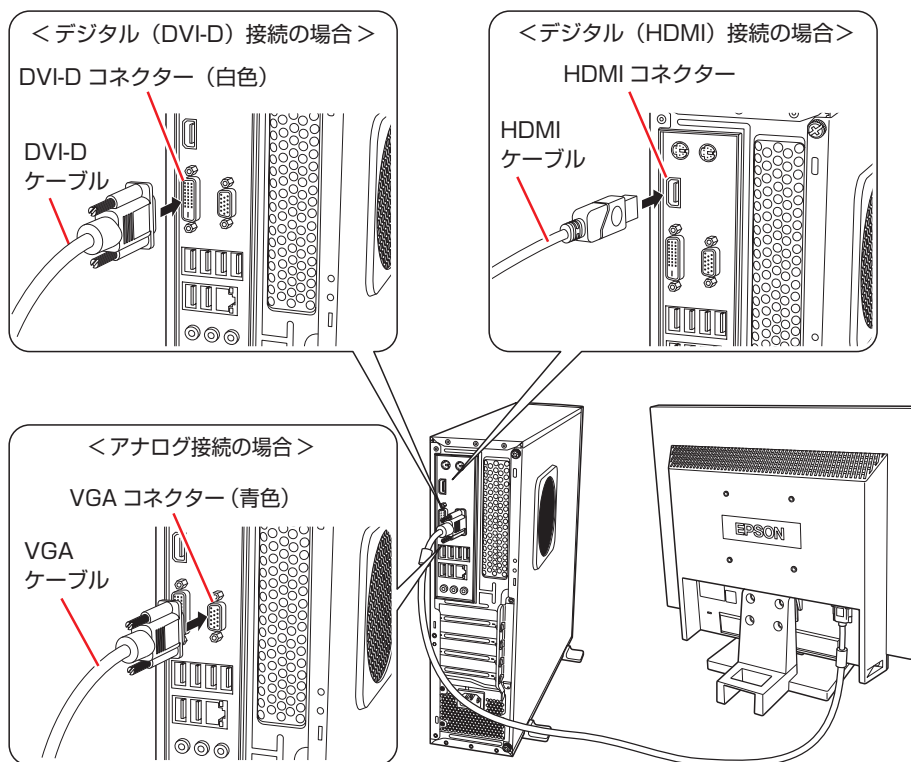


[PC お役立ちナビ] – [マニュアルびゅうわ] – 「機種名」 – 「ユーザーズマニュアル」 – 「サウンド機能」 – 「音声出力先の設定」



## 通常の場合（ビデオボードが装着されていない場合）

ディスプレイのケーブルを本機のコネクタに接続します。  
ディスプレイ 1 台につき 1 本のケーブルを、対応のコネクタに接続してください。



複数のディスプレイを接続した場合、画面の切り替え方法は、次の場所をご覧ください。



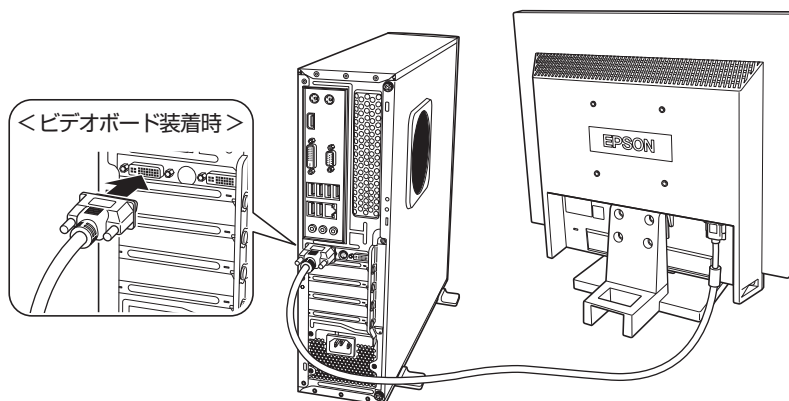
[PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] - 「機種名」 - 「ユーザーズマニュアル」 - 「画面表示機能」 - 「画面表示の切り替え方法」

## ビデオボードが装着されている場合

ディスプレイのケーブルをビデオボードのコネクタに接続します。  
ディスプレイ 1 台につき 1 本のケーブルを、対応のコネクタに接続してください。

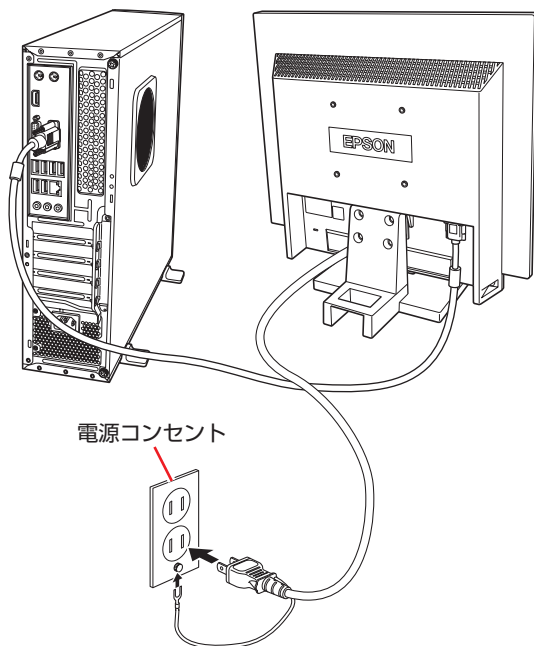
※ ボードによって、搭載されているコネクタは異なります。

※ ボードによっては、変換用のアダプターが添付されている場合もあります。



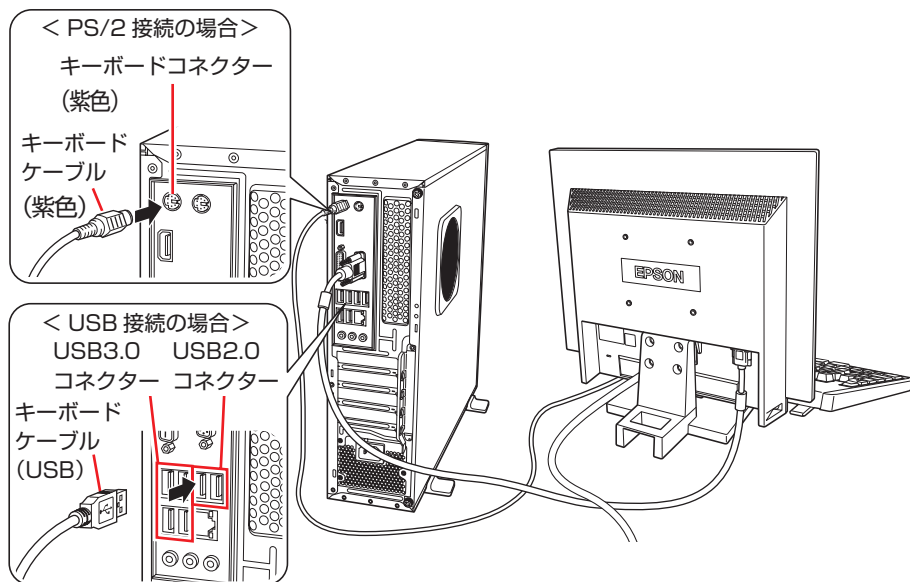


**4** ディスプレイに同梱の電源コードを、ディスプレイと家庭用電源コンセントに接続します。



**5** キーボードを接続します。  
ここでは一般的な接続方法を説明しています。

※ コードレスキーボードの場合は、別冊子をご覧ください。



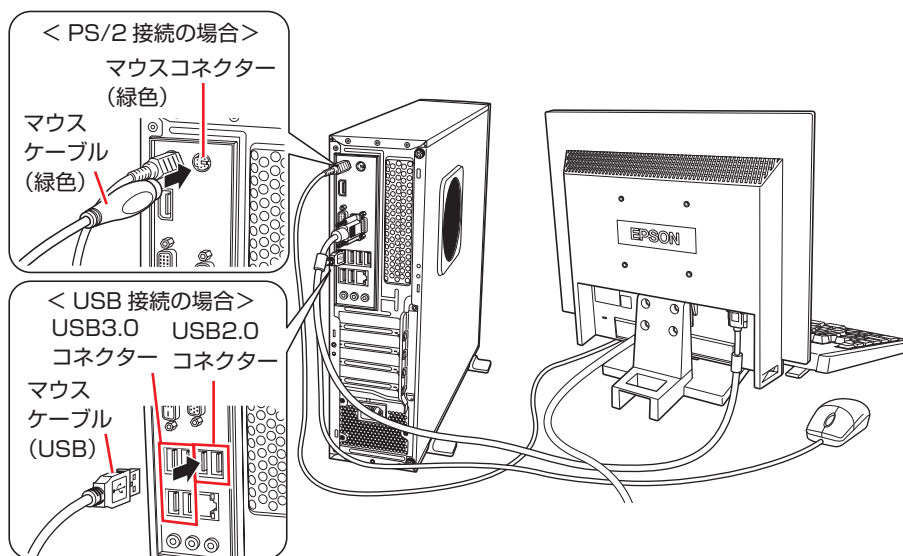
- ※ USB キーボードは USB2.0 コネクターに接続することをおすすめします。
- ※ キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときはキーボード底面の両端の脚を起こします。



## 6 マウスを接続します。

ここでは一般的な接続方法を説明しています。

※ コードレスマウスの場合は、別冊子をご覧ください。



※ USB マウスは USB 2.0 コネクタに接続することをおすすめします。



制限

本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。

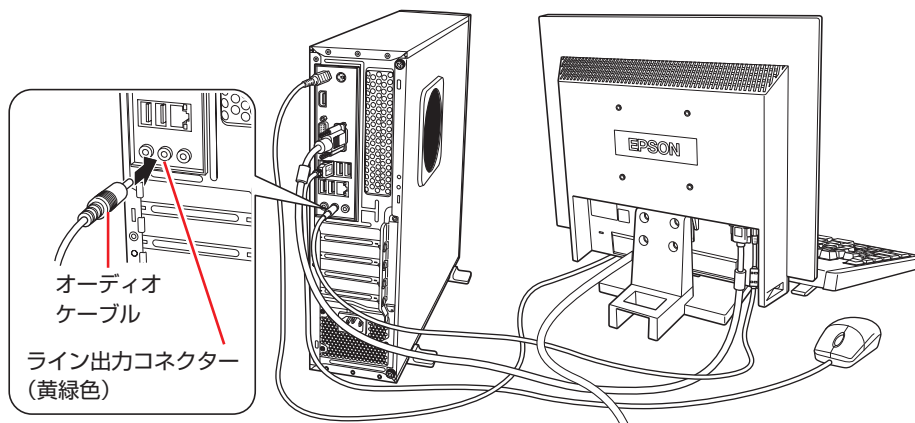
## 7 本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力する場合は、ディスプレイやスピーカーのオーディオケーブルを、本機背面のライン出力コネクタ（黄緑色）に接続します。

詳しくはディスプレイやスピーカーのマニュアルをご覧ください。

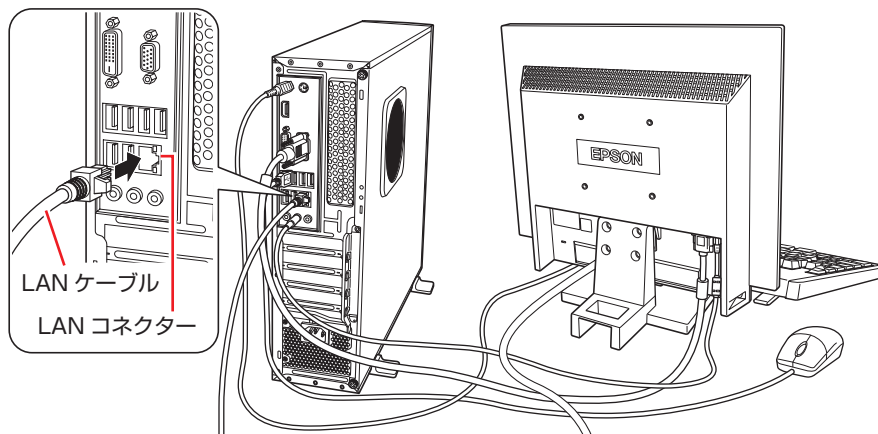
※ 3 で HDMI 接続をした場合は、音声出力先を設定してください。



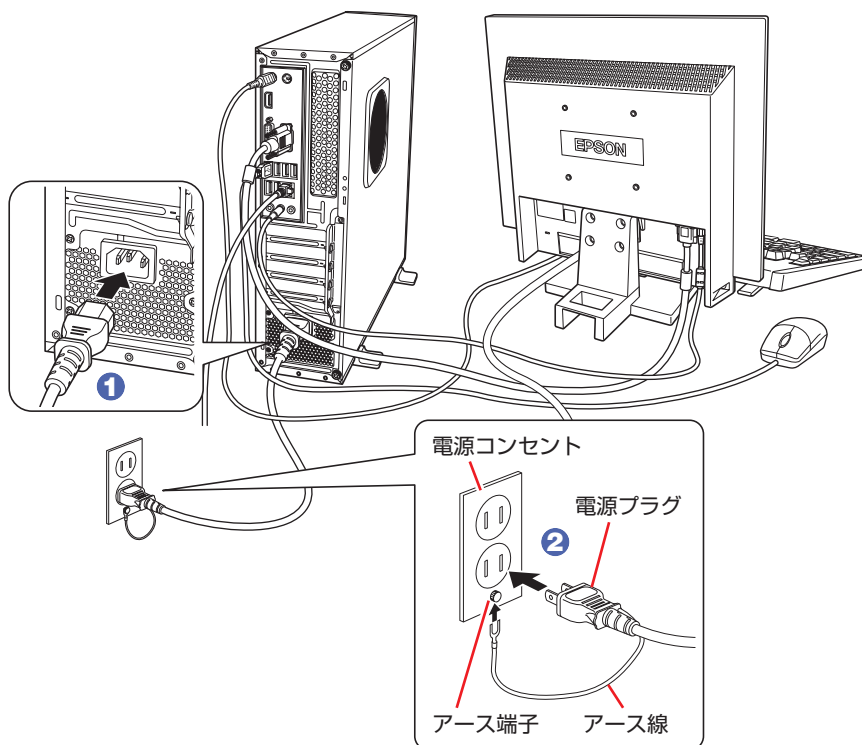
[PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] - 「機種名」 - 「ユーザーズマニュアル」 - 「サウンド機能」 - 「音声出力先の設定」



- 8** ネットワークを使用する場合は、市販のLANケーブルを本機背面のLANコネクタ（）に接続します。



- 9** 本機に同梱の電源コードを、本機と家庭用電源コンセントに接続します。  
コンピューターの近くで、抜き差ししやすい場所にあるコンセントを使用してください。  
※ イラストの電源コードは 2 芯です。3 芯の場合は、3 芯タイプのコンセントに接続してください。



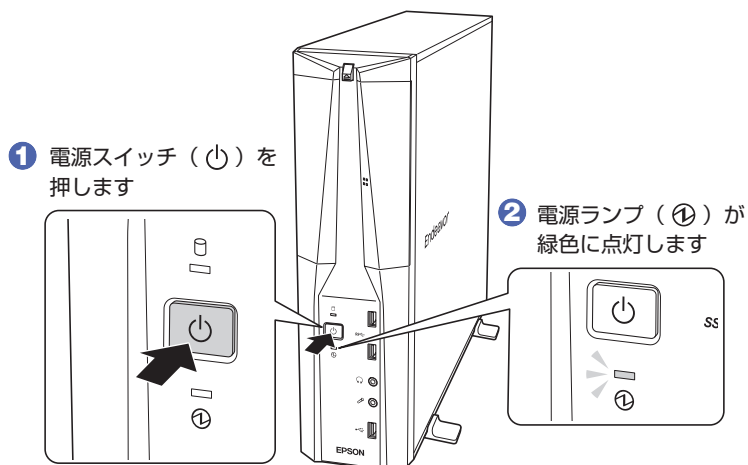
続いて、Windows のセットアップを行います。

# 3 Windows をセットアップする

本機の電源を入れて、Windows を使用できる状態にするまでの手順を説明します。

**1** ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます。

**2** 本機の電源を入れます。



しばらくすると Windows のセットアップ画面が表示されます。



参考

## 画面が表示されないときは

本機とディスプレイのケーブル類は正しく接続されているか、ディスプレイの電源は入っているか、確認してください。また、ディスプレイ側に表示の切り替え機能がある場合は、表示を切り替えてみてください。

**3** Windows のセットアップを行います。

画面の指示に従って、セットアップを行ってください。  
セットアップの流れは、次のとおりです。

### ライセンス条項

画面に表示された内容を確認し、[同意します] をクリックします。



### パーソナル設定

色を選択、PC 名を入力し、[次へ] をクリックします。  
※ PC 名は半角英数字を入力してください。



## 設定

[簡単設定を使う] をクリックします。



### インターネットに接続している場合

すでにお持ちの Microsoft アカウントを使用する場合は、メールアドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。Microsoft アカウントを新しく作成する場合は、「新しいアカウントを作る」をクリックし、画面の指示に従って作成してください。  
※ 設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。



### インターネットに接続していない場合

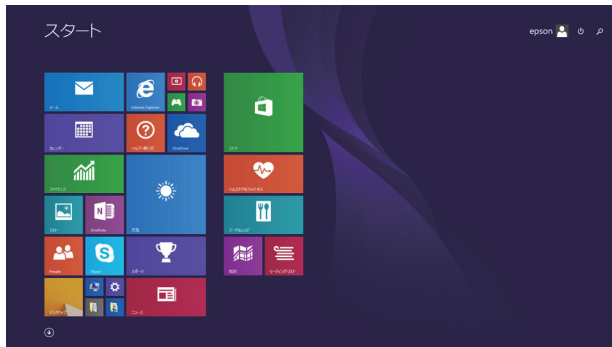
ローカルアカウントを作成します。「お使いのアカウント」と表示されたら、ユーザー名とパスワード（任意）を入力し、[完了] をクリックします。

※ ユーザー名、パスワードは半角英数字を入力してください。

※ 設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。

セットアップ後にインターネットに接続し、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えることもできます。

スタート画面が表示されます。



<イメージ>

これでコンピューターを使用できます。

## ユーザーズマニュアル (PDF) を見る



以降は [PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] から「ユーザーズマニュアル (PDF)」を参照し、必要に応じて次の作業を行ってください。

- データの移行
- データのバックアップ
- メールの設定
- インターネット接続時のセキュリティー対策


# 4 安全にお使いいただくために

このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。




その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。





 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
---	-------------------------------------

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を接地（アース）することを示しています。

 <b>警告</b>	
	<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <p>取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。</li><li>● 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。</li><li>● 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。</li><li>● コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。</li></ul> <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>
	 <p>電源コードのたこ足配線はしないでください。</p> <p>発熱し、火災の原因となります。</p> <p>家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。</p>

## 警告



本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、本機の電源コードは、他の製品に使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。



破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。

電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。
- 電源コードの上に重いものを載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードを束ねた状態で使用しない。

電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
- 触れないほど熱い。
- 割れや変形があるなど、破損している。

万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。それからカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。それからカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。  
飛び散って、けがをするおそれがあります。



本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。  
けが・感電・火災の原因となります。



装置の増設・交換などで本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。

## 警告



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。  
また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。  
火災の原因となります。



電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。  
接地しないで使用すると、感電の危険があります。  
アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。  
火災の原因となります。



アース端子は、コンセントに挿入または接触させないでください。  
感電・火災の危険があります。

## 注意



小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。  
感電・火災の原因となります。



本機の通風孔をふさがないでください。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。  
設置する際は、次の点を守ってください。  
・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。  
・じゅうたんや布団の上などに設置しない。  
・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



交流 100V 以外の電源は、使用しないでください。  
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。  
配線を誤ると、火災の原因となります。



## ⚠ 注意



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。  
感電の原因となります。



装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷のおそれがあります。  
本機の電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。



オプティカルマウスの場合、マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。また、レーザーマウスの場合は、マウス底面から目に見えないレーザーが出ています。マウス底面は見つめないでください。  
視覚障害の原因となります。



本機にはレーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザー装置として分類され、その安全基準を満たした光ディスクドライブが搭載されています。  
しかしながら、ドライブを分解すると、クラス 1 を超えるレーザーがドライブ外部に出力されることがあります。  
ドライブを分解したり、動作中にドライブ内部をのぞきこまないでください。  
レーザー被爆による失明や皮膚などの障害の原因となります。



光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。  
けがをするおそれがあります。



ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。  
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



長時間または不自然な姿勢でのコンピューター操作は避けてください。  
肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。



小さなお子様の手が届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。  
飲み込むと化学物質による被害の原因となります。  
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。



本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。  
コード（ケーブル）などが破損し、火災・感電の原因となります。また、コード（ケーブル）などが引っかかり、けがの原因となります。



連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
火災の原因となることがあります。

# MEMO

---

---

---

---

---

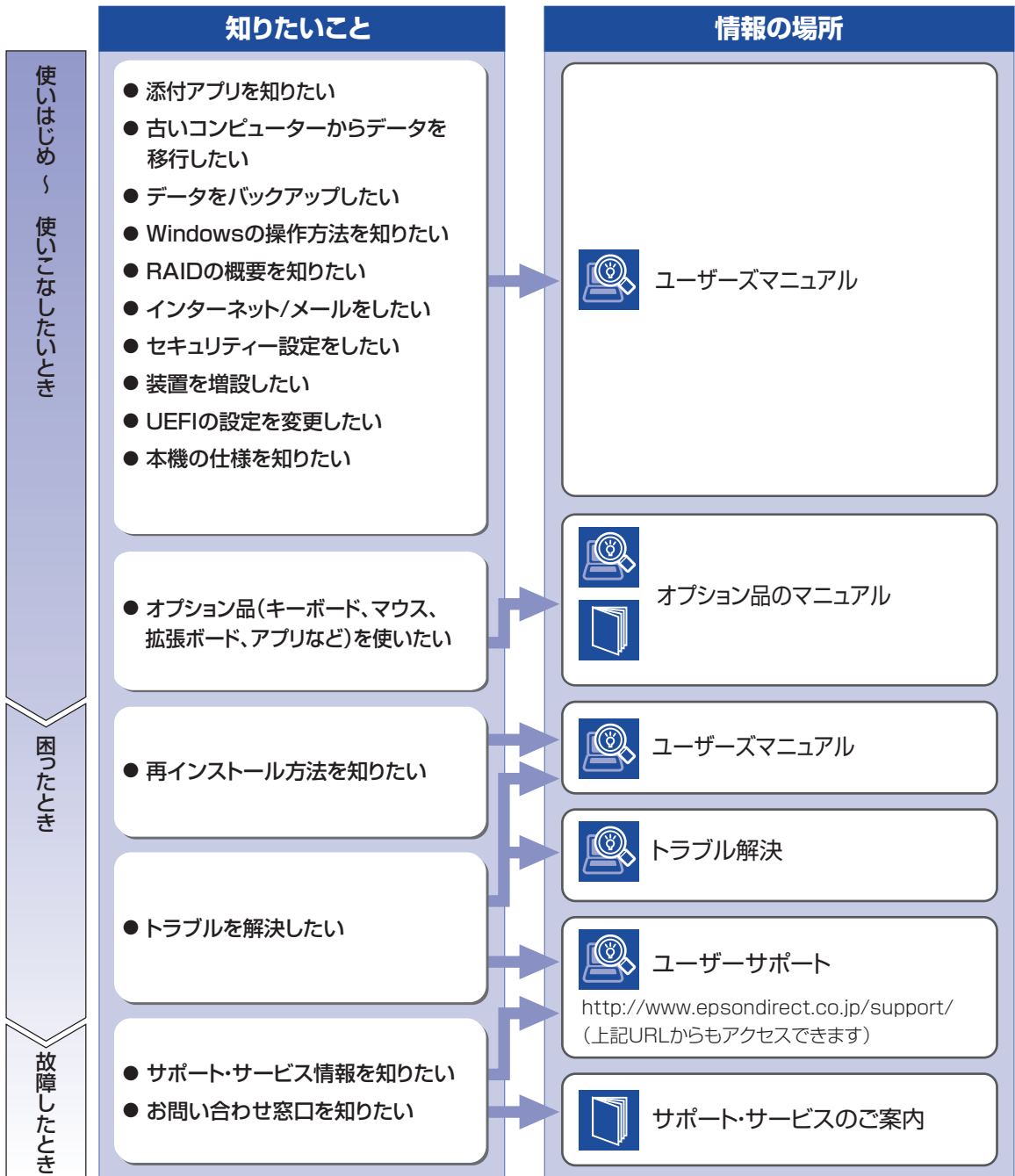
---

# MEMO

---

# 情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。



## PCお役立ちナビ

コンピューターの画面で見る電子の情報です。



## 紙マニュアル

紙で添付されている情報です。